



## 第3回東北大学脳科学グローバルCOE キャリアパスセミナーの

### お知らせ

キャリアパスセミナーでは、主に、生命科学で専門教育(主に修士以上)を修められた上で、アカデミックとは異なるキャリアを積まれた方を中心にお招きして、御経験をもとに、キャリア形成について語って頂きます。第3回は、特許技術者としてのキャリアを積まれている講師の方をお招きします。

日時 2009年1月9日(金)17:30～19:00  
会場 星陵キャンパス・5号館2階201 セミナー室

演者 澤井 昭司 先生

(一色国際特許業務法人 特許技術者)

演題 「研究と特許の架け橋 ～発見から発明へ～」

#### 講演概要

近年、基礎研究の世界に特許制度が入り込んできた。しかしながら、発見そのものを目的とする研究者にとって、発明を目的とする特許は、ある意味、異質なものである。そのため、多くの研究者には、いまだに特許制度の目的や特許の本質が知られていない。一方、特許業界にとって、基礎研究は非常に技術レベルが高く、弁理士をはじめ、特許に関わる人たちは、その技術の進展に追いついていないのが現状である。

本講演では、研究者にとって特許とはどういう意味を持つのかを議論するとともに、基礎研究者であった一人の特許技術者が、研究と特許をつなぐ架け橋となるべく、特許業界で行っている試みについて紹介したい。

#### 演者略歴

東京大学理学部生物学科卒業、京都大学理学系大学院(生物物理学専攻)修了後、ドイツ・ケルン大学や米国・NY大学で、7年間ポスドクを経験し、1999年東京大学医科学研究所・助手として帰国、2001年より一色国際特許業務法人で特許技術者として従事。研究者としての専門は発生遺伝学。特許技術者としての主な業務分野はバイオ・医学・化学。

\*聴講は、脳科学グローバルCOE関係者に限らず、どなたでも歓迎します。